

新生「日本海水」10月始動

新日本ソルトと赤穂海水が合併、 日本製塩メーカー5社へ

2004年10月1日、国内製塩業界一位の「新日本ソルト」（本社・東京都中央区）と三位の「赤穂海水」（本社・赤穂市）が経営統合し、新会社「日本海水」が設立された。年間売上高は百億円強の我国最大の製塩メーカーとなる。統合の経緯を見ると、昨年、両

社の株式を保有する旭化成と大手投資会社のアドバンテッジパートナーズが製塩事業に合意し、今後予想される国際競争への対応力を高める目的で、持ち株会社「ソルトホールディングス」を設立し、両社の統合を進めてきた。この事業一本化により、自由化された輸

入塩への競争力をさらに強化する狙いである。

新日本ソルトは1951年（昭和26年）、新日本化学工業として発足し、世界で初めてイオン交換膜法製塩設備を導入している。1995年（平成7年）に新日本化学工業から事業継承され、新日本ソルトが設立された。小名浜工場（福島県いわき市）では26万トンの製塩が行われている。

赤穂海水は、1960年（昭和35年）に赤穂海水工業として発足した。以来、歴史ある赤穂の塩業を担ってきた。年間22万トン余りの製塩が行われている。

新会社の発足により、赤穂海水は「日本海水赤穂工場」と名称を

変更したが生産体制は以前と変わらず、商品名の「赤穂塩」も継承される。今後、家庭用、ミネラル分を加えた特殊製法塩の開発・販売や環境事業にも力を注ぐ方針である。赤穂工場と小名浜工場に、四年計画で一工場10億円、計20億円の設備投資を進めていく。

なお、日本海水は、資本金13億円、販売数量48万トン、従業員は185名。代表取締役社長にはソルトホールディングスの社長である植村佳樹氏が就任した。

今後、東日本、西日本それぞれ生産拠点を持つ特長を生かし、国内の塩メーカーとして競争力をより高めていく方針である。

会社概要

社名	株式会社 日本海水
設立	1995年10月 (新日本化学工業(株)より事業継承)
本社所在地	東京都中央区東日本橋3-7-17 KMビル5階
工場所在地	小名浜工場 (福島県いわき市小名浜字渚2-4) 赤穂工場 (兵庫県赤穂市加里屋字加藤974)
資本金	13億円
従業員	213人(2004年10月現在)
事業内容	塩および副産物の製造販売事業、 環境事業
役員	代表取締役社長 植岡佳樹

The newly emerged Nippon Kaisui, underway as of last October Shin Nippon Salt and Ako Kaisui merge and join the ranks of the 5 major Japanese salt producers

On last October 1, first place salt producer Shin Nippon Salt and third place producer Ako Kaisui merged, giving rise to the new company Nippon Kaisui.

This merger has resulted in the emergence of the largest salt producer in Japan, with annual sales of just over ¥10 billion.

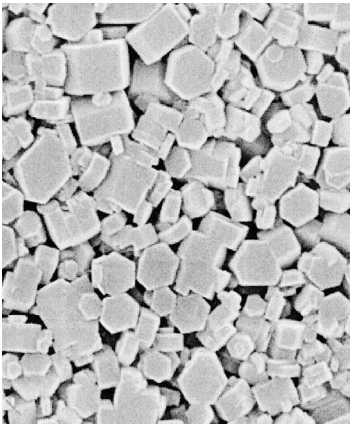
Asahi Kasei and Advantage Partners, holders of the shares of the two companies, had established a holding company called Salt Holdings and with this proceeded to merge the two companies. With this union, they are plans calling for a capital investment of ¥2 billion to be made over the next 4 years, at the Onahama and Ako plants. Nippon Kaisui is capitalized at ¥1.3 billion, with a volume of sales amounting to 480,000 tons. Yoshiki Uemura, a president of Salt Holdings, has been appointed as managing director of the new company.

It is expected that their ability to compete in the importation of salt, which has been deregulated, will be further improved through this channeling of their businesses.

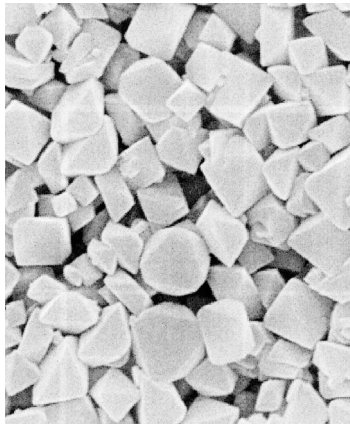
タテホ化学工業

新開発「エコーマグ®」量産へ

タテホ化学工業は、このほど従来の「エコーマグ® Z-10」に加え汎用半導体封止材向けの適用を図り、樹脂への分散性・加工性を高め、さらに低コスト化を実現した新グレードの「エコーマグ®」を開発した。



エコーマグ® 開発品



エコーマグ® Z-10

現在使用されている半導体封止材は難燃性を付与する為に臭素系の物質を加えている。しかしながら、臭素系物質は燃焼した場合、有害ガスを発生し、場合によってはダイオキシンを発生する可能性があるという環境問題を抱えている。既に同社では半導体封止材用酸化マグネシウム系ノンハロゲン難燃剤「エコーマグ® Z-10」を販売しているが、汎用封止材向けグレードの要求が強くなってきた。そこでこれに対応すべく開発を進めてきたが、今回、独自の結晶育成技術により、平板状の酸化マグネシウム結晶を低アスペクト化することで性能を高めることに成功した。さらにイオン不純物の低減、強耐酸性等、難燃剤に要求される特性を維持したまま、低コスト化を実現した。

汎用封止材を含めた大半の半導体封止材は、依然として臭素系難燃剤が使用されている。環境に対する取り組みは今後ますます活発

The 17th International Symposium on Superconductivity TOKI MESSE ,Niigata Japan

The 17th International Symposium on Superconductivity (ISS2004) was held from Tuesday, November 23 to Tuesday, November 25 at Niigata Convention Center (TOKI MESSE), Niigata, Japan. It has come to the end of under prosperous conditions.

The number of countries of participants were 24, and the total of participants were about 600.

Upcoming ISS will be held from October 24 to October 26 at Tsukuba, Japan.

The 11th International Display Workshop December 8 (wed)-9 (Thu), 2004 TOKI MESSE ,Niigata

The 11th International Display Workshop (IDW) 04 integrated eleven workshops and a topical session information display activities. The workshops and topical session should be of interest not only to researchers and engineers, but also to those who manage companies and institutions in the display community. Tateho Chemical Industries showed the site obtained much information.

This workshop sponsored by the Institute of Image Information and Television Engineers, and The Society for Information Display.

Tateho Chemical Industries The newly developed Echomag heading toward mass production

Tateho Chemical Industries has been marketing amagnesiumhydroxide,non-halogenflameretardant called EchoMag Z-10 as a sealant for semiconductors.

Striving to apply this for sealing regular semiconductors, the company has come out with a new grade Echomag which has greater resin dispersibility and finishing ability than the conventional product. The reason behind the development of the new product was that when the conventional product containing bromide was combusted a poisonous gas could be omitted and dioxin could be generated. It was because of this that demands arose for a grade which could be used with regular semiconductors. Tateho went aheadwithdevelopmenttocopewiththeenvironmental problem. By lowering the aspect of the flat magnesium hydrate crystal. They were able to increase its capability. Along with this they were also able to bring about a reduction in operating costs. Hopes are that this application will expand beyond that as a sealant for regular semiconductors, and include electrical equipment and electronic components.

になると見られ、同社は今回の新製品の量産体制を整え、需要増に
応えていく方針である。
また、「エコーマグ®」は難燃性
以外にも機能性ファイラーとして優

れている。その隠蔽特性から筆記
具や化粧品等への応用も検討され、
低コスト化により汎用半導体封止
材用途だけでなく、電気・電子機
器部分への用途拡大も期待される。

第17回国際超電導シンポジウム

タテホ化学、MgO単結晶を出展

04年11月23日〜25日新潟・朱鷺メッセで開催

国際超電導産業技術研究センター（ISTEC）が主催する第17回国際超電導シンポジウム（ISS2004）が、11月23日から25日の3日間、新潟コンベンションセンター（朱鷺メッセ）にて開催された。海外からの参加者を含め、内外の超電導関連の大学及び企業の第一線技術者及び研究者が集まった。

ISSは、ISTECが主催し、



出展したマグネシア単結晶



参加者で賑わうブース

毎年開催されている高温超電導の各種応用技術・研究に関するシンポジウムを、「物理化学」、「線材・テープ材、システム応用」、「薄膜・接合、エレクトロニクスデバイス」の分野に分け行うものである。第1回は88名古屋であった。ちなみにISS2004組織委員長は、田中昭二ISTECセンター長である。最近の研究発表の傾向ではフィルターなどマイクロ波分野の

ピークはやや過ぎ、超電導線材関連が中心となりつつあるとされる。シンポジウムにあわせて、超電導関連材料、デバイス分析、測定などの企業展示会も実施される。今回の出展社は東北電力、スマック、丸文、同和鉱業、ケイ・アンド・アールクリエーション、タテホ化学工業、フジクラ、新日本製鐵先端技術研究所、超電導工学研究所（ISTEC）であった。

この内、タテホ化学工業は、MgO単結晶塊、ブロック、基板を出

第11回国際ディスプレイワークショップ

PDP、液晶など最新技術の研究を発表

新潟・朱鷺メッセ04年12月8日〜10日

各国の表示装置関連の研究者、技術者が集結し、最新の研究発表を行う第11回国際ディスプレイワークショップが、12月8日〜10日の3日間、新潟コンベンションセンター（朱鷺メッセ）にて開催された。

このワークショップの内、PDP関連の参加国として日本の他に、韓国、米国、中国、オランダ、台

展し、臨界電流値が高い高品質な高温超電導体膜用、MgO単結晶の特性をアピールした。同社は2001年より連続的に出展してきた。これによって、「高品質、高品位なMgO単結晶メーカーとして世界的な認知を得ることができた」とする。

なお、第18回国際超電導シンポジウムは2005年10月24日〜26日、つくば国際会議場で開催の予定である。

湾の6カ国で、PDPにおけるセル構造や製造法といったセッション分類別に、講演等を行なった。PDPの絶縁保護層に用いられる酸化マグネシウムのトップメーカータテホ化学工業も参加した。

当ワークショップの主催は、映像情報メディア学会とThe Society for Display Mation Display。